発行日　2019年4月　No.32

彦根市立病院

地域連携だより

彦根市立病院
〒522-8539　滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL ： 0749-22-6050（代）

問い合わせ先　彦根市立病院　地域医療連携室
TEL ： 0749-22-6053　FAX ： 0749-22-6093

いつもありがとうございます

平成31年度 新たなスタートをむかえて

彦根市立病院
院長　事業管理者
金子　隆昭

早いもので、当院が地域支援病院を取得して2年が経ちます。当院の目標である「住みなれた地域で健康を支え安心とぬくもりのある病院」として、その役割を果たしているでしょうか。少子高齢化が進む住みなれた地域で、患者さんに「安心とぬくもり」を感じていただける医療を実践していくには、病院のみでは完結できず、地域との多職種連携が必要となってきます。

平成31年4月から、地域連携センター長として、前地域連携センター副参事兼看護副部長の北川　智美を新たに任命いたしました。これまで院内の組織マネジメント力の強化と地域医療連携の実践者として、早くから関わってきた人材です。今後、湖東医療圏域で満足していただける最良の医療を実践すべく、地域連携センターを窓口に展開していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

北川智美　きたがわ　ともみ

このたび、地域連携センター長を拝命いたしました。地域の強い医療連携のために尽力する所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

彦根市立病院就職　看護科長、看護副部長を務める
佛教大学社会学部社会福祉学科卒業
山形大学大学院医学系研究科看護管理学博士課程前期卒業
日本看護協会皮膚・排泄ケア認定看護師
特定看護師：創傷管理関連分野

地域連携共同利用検査のご案内

4
2019

地域医療連携室では、湖東医療圏の中核病院として一貫した医療を患者さんへ提供できるよう、地域の各関係機関との連携強化に努めています。
医療機器共同利用とは、地域**医療**機関の先生方から、『検査のみ』を必要とする患者さんをご紹介いただき、検査が終了した時点で患者さんをお返しするシステムで

共同利用検査項目	日時	概算（3割負担の場合）
CT （造影あり） （造影なし）	月～金曜日 （4名/日）	¥9,410円＊ ¥6,010円
MR （造影あり） （造影なし） MRA	火～金曜日 （4名/日） 月曜日のみ （3名/日）	¥10,040円＊ ¥7,300円 ¥7,300円
MR・MRA（造影なし）	土曜日、頭部・脊椎・骨盤単純のみ（5名/日）	¥7,300円
単純撮影	月～金曜日 時間内	¥2,230円
骨塩定量検査	火・金曜日（2名/日） 月・水・木曜日（1名/日）	¥2,950円
超音波検査（腹部・頸部）	水曜日 （1名/日）	¥3,190円
胃内視鏡検査（経鼻・経口）	月～金曜日 （2名/日）	¥5,100円
大腸検査（内視鏡）	月～金曜日 （1名/日）	¥6,960円
心臓CT（診察必須）	月～金曜日 （4名/日）	¥9,410円＊
マンモグラフィー	月・水・金曜日 （1名/日）	¥3,280円
核医学（RI）	その都度確認	¥22,210円＊

大腸検査（内視鏡）、心臓CTの検査依頼については、当該科外来へ受診後、検査を受けていただきます。

・いずれも、初診料（282点）・診療情報提供料Ⅰ（250点）を含みます。
・＊印は、造影剤の種類や量によって金額が増減します。

◆予約から受診の流れ

紹介元医療機関

1.電話またはFAXでご依頼ください。
2.診療検査申込票を当院へFAXしてください。
3.予約通知票、必要書類をFAXいたします。
4.患者さんへ各検査必要書類をお渡しください。

患者さん

◆検査当日
1.予約通知票
2.同意書（必要時）
3.診療情報提供書
4.健康保険証
5.診察券（お持ちの方のみ）をお持ちいただき、紹介患者窓口③までお越しください。
6.放射線科にて診察後検査を行います。

地域医療連携室

読影結果は、１週間前後で、紹介医さまへFAX・ご郵送させていただきます。
検査結果の説明は、紹介元の先生からお願いいたします。

地域連携部門、病院機能評価 S 評価をいただきました

彦根市立病院は、医療の質の向上および患者さまへのサービス改善を念頭に、昨年の10月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、平成31年2月1日付けで『機能種別評価一般病院（3rdG:Ver2.0)』に認定を受けました。

当院は、平成15年に初めて認定を受け、今回で3回目の更新です。

病院機能評価とは

公益財団法人日本医療機能評価機構による全国の医療機関を対象とした第三者評価です。組織全体の運営管理・医療について、日本医療機能評価機構が中立的に、科学的、専門的な見地から評価を行います。

その結果、病院の質改善活動について問題点を指摘し、また一定の努力が認められる病院について、認定証が発行されるものです。

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第○○○○号

認定証
Certificate of Accreditation
認定第JC68-4号
Accreditation Number
主たる機能：一般病院２
Hospital Type 2
機能種別版評価項目3rdG：Ver.2.0
病院名
Hospital Name
彦根市立病院
Hikone Municipal Hospital
殿
貴病院が日本医療機能評価機構の定める
認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.
認定期間：2018年11月17日～2023年11月16日
交付日：2019年2月1日
初回認定：2003年11月17日
☆☆☆☆
（認定4回目）
公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care
代表理事　理事長　河北　博
Chairman of the Board　Hirofumi Kawakita

評価は「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」の領域に分かれています。サーベイヤー（審査員）による書類審査と症例の流れを審査するケアプロセス調査などが行われ、89項目にそれぞれ4段階（S・A・B・C）の評価がされます。

その中で、**当院は前号でお知らせした「栄養部門：栄養管理機能を適切に発揮している」と、「地域連携部門：地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している」の2項目でS評価（秀でている）をいただきました。**

◆地域連携センターが評価された点

地域医療連携室では専従の事務職員と看護師を配置し「迅速な対応、地域への信頼！」をモットーに、日々、湖東保健医療圏を中心に患者の受け入れをしています。

当該医療圏4病院による会議を毎週開催し、患者の情報共有、医療・看護のサポートを行っています。このことにより、病床機能分化が強く言われる今日、4つの病院の役割分担が確立され、高度急性期の患者さんは当院へ、急性期治療が必要ではない患者さんは、他の病院へ転院していただくなど、地域の医療施設との連携や協力を高く評価していただきました。

今後とも、地域の皆さんに、必要とされる病院を目指して参ります。

開放型病床
～お互いに強みを生かす共同診療～

当院の状況

当院では、開放型病床を5床運営しています。
4月以降、10名の先生にご利用いただいている状況です。100%運営をしています。

開放型病床のメリット

- かかりつけ医も患者さんの担当として、開放型病床に入院された患者さんを訪問し、当院の医師と一緒に診察します。
- 患者様は、入院中も、普段から診察してもらっているかかりつけ医の顔を見ることができるので安心です。
- 患者様の状態を良く把握しているかかりつけ医のご意見は、診療の大きな力になります。
- かかりつけ医が患者さんの入院中の経過を把握できるので、退院後も安心して継続した診療を受けていただくことができます。

実際の状況

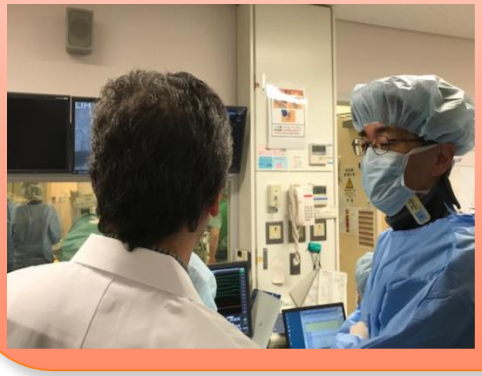
①情報確認

先生が開放型病床に来院されると、在宅診療科の医師から患者さんの状態を聞かれます。

②患者訪問・診察

患者さんの病室を訪問し、主治医や病棟看護師から患者さんの状態を聞きます。

患者さんの、心臓カテーテル中、当院の循環器内科の医師から説明を聞かれます。



院内デイサービスにもお顔を見に行かれます。

③記録

ラウンド後に、記録を書いていただき、情報交換をさせていただきます。

開放型病床に来ていただいた先生方には、医師・看護師・コメディカルなど皆で対応させていただきます。
かかりつけ医の先生方とともに患者さんを診ていきたいと思います。是非、患者さんをご紹介していただき、先生方のご来院をお待ちしています。